

令和7年度第1回保呂羽山少年自然の家協働会議 会議録【要旨】

1 日時・場所

令和7年4月23日（水） 午後1時30分から

保呂羽山少年自然の家 1階 ジュピター（視聴覚室兼研修室）

2 出席者

（1）【委員】 7名

阿部義和（会長）、小野詠子、阿部美紀子、加藤敦美、渡部卓、高橋大成、佐藤友治

（2）【秋田県教育庁生涯学習課】 1名

主任社会教育主事（兼）サブリーダー 渡辺智一

（3）【保呂羽山少年自然の家】 7名

所長 公地望、副主幹（兼）チームリーダー 小松正典、主事 茂木陽大、技能主任 佐藤清、主任社会教育主事（兼）チームリーダー 湯野澤兄一、主査（兼）社会教育主事 北畠良晴、社会教育主事補 矢尾健

3 次第

（1）所長あいさつ

（2）委員及び職員紹介

（3）委員及び副会長選出

（4）会長あいさつ

（5）議事

（6）生涯学習課長あいさつ（代読）

4 発言要旨

- ・少子化が進んでおり、今の子どもたちは家の中で遊ぶ子が多いため、このような自然の家の施設はとても大切だと感じる。
- ・自然の家の老朽化が進んでいるため、県教育委員会が今以上に修繕費を予算化して欲しい。
- ・11月以降閉鎖せずに冬期施設として開所して欲しい。
- ・宿泊の寝具がだいぶ古くなっているため、更新を検討して欲しい。
- ・近年、不登校の子が増えており、その子たちにどのような体験をさせていくのかというのが大事になってきているため、不登校の子どもたちを受け入れる事業等の充実を図れば良いと思う。